



●ホームは1面1線



●踏切を渡ったところに駐輪場がある



●駅への入口となる第一勝田街道踏切



カーブを描く1面1線の駅
美しい田園風景越しに県都を望む

JR水郡線常陸津田駅は、ひたちなか市津田にある。駅の西側は水戸市で、那珂市にも近い。

駅が設置されたのは昭和10年。JR片町線に津田駅（大阪府枚方市）があったため、常陸津田駅となった。駅への入り口は常陸青柳駅側の第一勝田街道踏切にあり、踏切からホームを見ると、緩やかに右カーブを描いている。かつてはホームが短く、乗降するためのスペースは2両分しかなかったが、現在は延伸されている。ホームには待合室があり、簡易電子掲示板も設置されている。駅前に自動車駐車が出来るスペースはないが、踏切を渡ったところに自転車置き場が整備されている。

駅の周りは住宅街。那珂台地上りは始める場所に位置し、南側は美田が広がり、夏の青々とした風景、実りの季節に夕日で金色に輝く風景は美しい。

Vol.127

駅からのふるさと紀行 JR水郡線

ひたち つだ

常陸津田駅

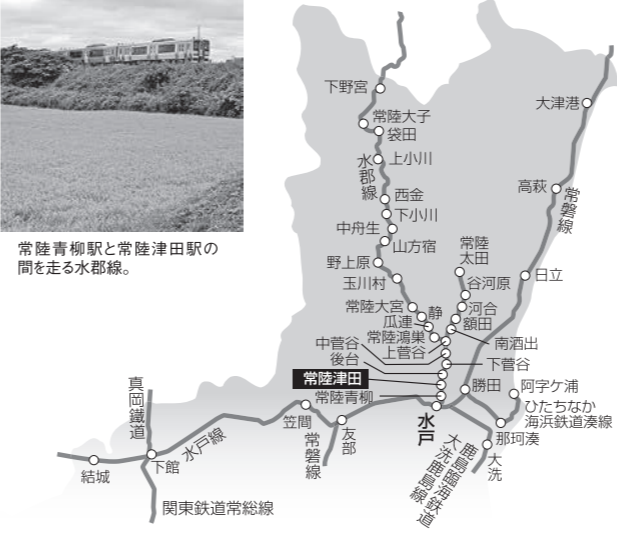
ひたち あおやぎ | ご だい

常陸青柳 後台

●次回は11月27日 掲載予定です。 ※イラストはイメージです。



常陸青柳駅と常陸津田駅の間を走る水郡線。



働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp

●水戸市公設地方卸売市場

昭和47年の開場以来、県央地域の生鮮食料品の経済・流通拠点として、産地と消費者をつなぐ。

●青柳夜雨

国道349号、万代橋のほとりにある。徳川斉昭公が選定した「水戸八景」の1つで、近くには「青柳の渡し跡」もある。

コースは季節を問わずに楽しむことができます。新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を考慮しながら、散策をお楽しみください。

ふるさと紀行 周辺マップ

田園風景

田園からひたちなか市方面を望む

田園風景越しに見た水戸市街地

●鹿島神社

●正一位稲荷神社

●福徳稲荷神社

至後台駅

常陸津田駅

市毛小

市毛十字路

JR水郡線

349

63

6

万代橋

那珂川

至水戸駅

常陸青柳駅

● 散策コース ●

常陸青柳駅と常陸津田駅の間、水郡線は田園風景を走る。常陸津田駅是那珂台地上り始める位置にあり、駅から是那珂川左岸段丘の田園越しに水戸市街地を望むことができる。津田地区から市毛地区にかけて的那珂台地は神社が多い。まずは津田地区の鎮守である鹿島神社。ケヤキやスダジイの巨木など木々が茂る境内は荘重な雰囲気。入口には由緒ある「力石」などが置かれている。次は正一位稲荷神社へ。鳥居から細長い階段を上ると稲荷神社がある。さらに国道6号方面に歩くと福徳稲荷神社がある。5つの鳥居の先には祠があり、油揚げなどもお供えされている。

次は水戸市公設地方卸売市場へ。茨城産の魚を扱う水産物部をはじめ、青果部、花き部がある。場内の食堂も人気だ。時間があれば、常陸青柳駅から那珂川を上流に向かって歩こう。国道349号の万代橋付近には、「水戸八景」の「青柳夜雨」がある。ここからの水戸城の眺めは素晴らしかったと言い、徳川斉昭公は「雨の夜に舟を浮へて青柳の木の間に渡る風の涼しさ」と和歌に詠んだ。現在は柳の木の下に、青柳夜雨の石碑が建つ。

●お問い合わせ / ひたちなか市観光振興課 ☎029(273)0111(代表)・水戸市観光課 ☎029(224)1111(代表) ●企画・制作 / 読売茨城広告社 ☎029(244)5555